

第12回 放射線による非破壊評価シンポジウム 講演募集

(一社)日本非破壊検査協会・放射線部門では、会員を中心とした学術活動を行っておりますが、広く会員以外の研究者・技術者との交流を図り、この分野の一層の発展を期すために2年に1回、公開のシンポジウムを開催しております。

放射線は科学・技術・学術、医療、工業、農業等の幅広い分野において利用されており、科学・技術・学術の進歩、国民の福祉、国民生活の水準向上に大きな貢献をしています。

東日本大震災による原子力発電所の事故に関連し、放射線管理への関心が高まっていますが、放射線利用については、広く社会に普及し、国民生活に深く浸透しているにもかかわらず、恩恵についての社会的認知度は低いのが現状です。

工業分野における放射線利用は、放射線加工、試験・計測及び環境保全に大別されますが、「放射線による非破壊評価シンポジウム」と題して、放射線を利用した試験・計測に関するテーマについて広く議題を募集して開催いたしますので、放射線関連分野の皆様への積極的な応募と参加をお願いいたします。

公募テーマ

1. 放射線の基礎と応用
2. 放射線透過・透視試験技術
3. 放射線源、放射線装置
4. 感光材料、放射線検出器
5. デジタルラジオグラフィ (DR) (DR 装置、適用例、フィルム法との比較、など)
6. X線 CT (工業用 CT 装置、3次元画像技術、寸法・形状測定など)
7. 中性子ラジオグラフィ
8. 製造工程の管理、部品検査
9. 製造中検査、使用前検査
10. 供用中検査、スクリーニング検査
11. 放射線応用技術 (分析、計測など)
12. 放射線安全管理、放射線測定
13. 放射線関連規格 (国内規格、ISO 規格、海外規格)

主催：(一社)日本非破壊検査協会 放射線部門

協賛：(公社)精密工学会、(公社)計測自動制御学会、(一社)溶接学会、(一社)日本高圧力技術協会、(一社)日本鋼構造協会、(一社)日本非破壊検査工業会、(一社)日本航空宇宙学会、(一社)軽金属学会、(一社)日本溶接協会、(一社)日本品質管理学会、(公社)日本航空技術協会、(一社)日本ボイラ協会、(一財)建築保全センター、(公社)日本ガスタービン学会、(一財)建材試験センター、(一財)日本溶接技術センター、(一社)日本食品機械工業会、(公社)日本鉄筋継手協会、(一社)日本機械学会、(一社)日本建築学会、(公社)日本金属学会、(一社)日本溶射学会、(公社)日本材料学会、(一社)日本鉄鋼協会、(公社)日本プラントメンテナンス協会、(一社)日本原子力学会

期 日：2020年2月13日(木)、14日(金)

会 場：(地独)東京都立産業技術研究センター 青海本部
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10

参加費：

JSNDI正会員	4,000円
(論文集1冊含む・消費税込) 登壇者・座長	4,000円
学生会員	3,000円
協賛団体会員	6,000円
非会員 一般	8,000円
非会員 学生	4,000円

懇親会：2月13日(木)シンポジウム終了後 会費 5,000円

議題締切：2019年9月30日(月)

原稿締切：2019年11月29日(金)

発表論文：刷り上がり B5判 6頁以内

申込方法：講演申込については部門ホームページからお申込みください。申込書受領後、受領確認のご連絡を申し上げます。受領確認の通知が届かない場合は、ご連絡くださるようお願いいたします。

問合せ先：〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階
(一社)日本非破壊検査協会 学術課 蒲生「第12回放射線による非破壊評価シンポジウム」係
TEL: 03-5609-4015 FAX: 03-5609-4061
E-mail: gamou@jsndi.or.jp

注) シンポジウム期日以内に満30歳以下の登壇者は新進賞の選考対象となります。受賞対象者は、当協会正会員(個人会員、団体会員の登録者)及び学生会員であり、非会員については、後日会員になる事が条件です。但し、既受賞者は対象外(学術関連の他賞を含む)です。なお、上記の条件に該当する発表者は講演申込に会員資格・生年月日・年齢を必ずご記入の上、お申込みください。ご記入がない場合は審査対象外となりますので、ご注意ください。

* 講演中のカメラやスマートフォン等による撮影は原則禁止としております。撮影される場合は、事前に登壇者の了承を得た上で、登壇前に座長へ申し出るようお願いいたします。